

読書感想文の書き方

そもそも読書感想文とは……？



「本の紹介」ではなく「本を読んで感じたこと・自分の変化を説明する文」です。
自分だったらどう思う？ どうする？ などを書き、人に伝えましょう。

苦手な人が多い読書感想文、ポイントを解説していきます！



① 本をえらぼう

とにかく自分が最後まで読める本を選びましょう。

読み始めてから、ちがうかも、と感じたら思い切って違う本にしても大丈夫です！

★こんな本が書きやすい！

- ・自分と似ている主人公の本（年齢、好きなこと、性格が似ている、など）
 - ・テーマがはっきりしている本（戦争、バリアフリー、友情、など）
- ・課題図書

② メモをとろう

ふせんを貼るだけでも大丈夫。

メモしたこと、ふせんを貼った部分が感想文の元になります。

おもしろかった部分、疑問を感じた部分、自分と似ていると感じた部分などをメモしておきましょう。

大切だと思った言葉を書き写しておくのもいいですね。登場人物が好きな理由や嫌いな理由、自分ならどうするかと考えたことをメモしてもいいです。



③ 次のページからさっそく書いてみよう！



★読書感想文の構成って？

「序論(はじめ)」「本論(中)」「結論(おわり)」の三つの骨組みをわかってきましょう。

序論

(はじめ)

- ・本を選んだ理由
- ・心に残ったセリフや人物、出来事の紹介
- 工夫したい人は会話文から書き始めると印象的

本論

(なか)

- ・あらずじは簡単に。主な出来事。
 - ・出来事や登場人物について、自分がどう思ったのかとその理由。
 - ・自分ならどうするか。自分の経験も入れて書くといい。
- ・第一段落で書いた「自分ならどうするか」に対する仮想反論と、それに対する答えが書けるとかっこいい。(☆)
- ・登場人物の好きな理由、嫌いな理由。など

☆メモやふせんをはった部分を中心に書いていく

(☆) 仮想反論・・・「このように行動する主人公は嫌いだと思うかもしれない。しかし私はこの行動に隠された～に魅力を感じる」のような書き方

結論

(おわり)

- ・本論の再確認と簡単なまとめ
- ・本論の感想から学んだこと
- ・自分の今後の課題、これからやりたいこと

この三つの骨組み構成を意識しておく
と、読書感想文以外の作文を書くのも楽
になります。

④書き終わったら読み直そう

提出の前にチェックしましょう。

- 誤字や脱字はないか
- 原稿用紙の使い方は正しいか
- 意味が通じない部分はないか
- 一文がだらだらと長くなっていないか
- 自分の言いたいことは伝わっているか

